RHEL7における不具合/セキュリティ対策
～Linux延長サポート(ELS)のご紹介～

Fsas Technologies

課題

- 2024年7月以降もRHEL7を利用したいが、不具合/セキュリティ修正は受け続けたい
- 極力RHEL7のマイナーバージョンを上げたくないが、問題発生時には速やかに修正適用できるようにしておきたい

効果

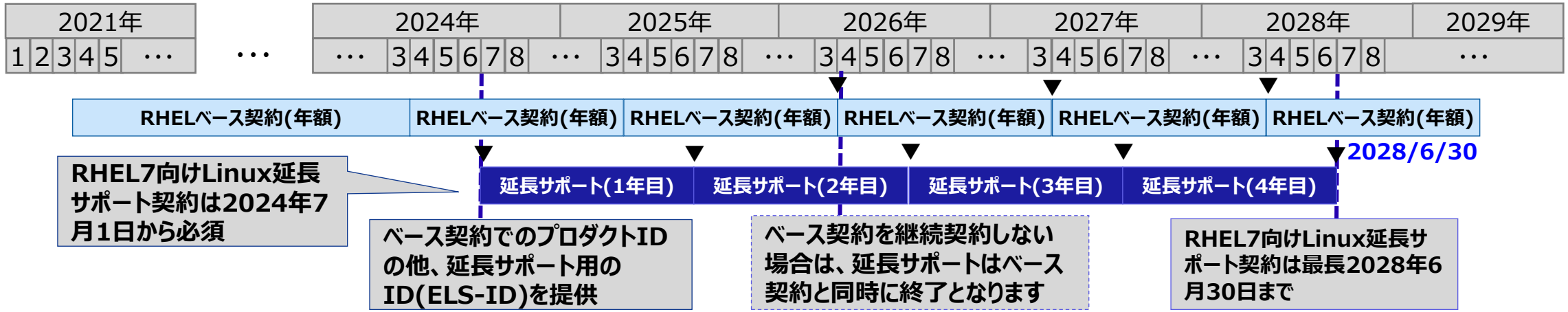
- RHEL7延長サポートにより、最終マイナーリリース（RHEL7.9）に対する不具合/セキュリティ修正を入手可能
- あらかじめRHEL7延長サポートを契約しておくことで、事前に修正情報を取集でき、リードタイム最小で修正の適用可能

適用のポイント

RHEL7の新規修正提供を2028年6月末まで延長するサポート（ELS）を用意

- RHEL7延長サポートにより、最終マイナーリリース（RHEL7.9）に対する不具合/セキュリティ修正を最長4年間入手可能
- 突然運用に耐えられなくなった場合でも、あらかじめRHEL7延長サポートを契約しておくことで、事前に修正情報を取集でき、リードタイム最小で修正の適用可能

ベースとなるRHEL SupportDesk契約のサービス開始が2021年4月1日の場合



© 2024 Fsas Technologies Inc.

お問い合わせ

Fsas Technologies

- Linuxソリューションや、Linux製品についてのお問い合わせは、
  下記お問い合わせページよりご依頼ください。

  - Linux情報へのお問合せ
    https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/contact/

© 2024 Fsas Technologies Inc.